

甲南Today

甲友のリレーションで、

未来を紡ぐ



TRY with KONAN ● あなたとつくる、新たなキャンパスムーブメント

EBA in Next stage

研究室訪問

過失不作為の刑事責任

何かをしないことの責任が問われる「不作為犯」のナゾに迫る

No. 20
2004 DEC.

甲南 Today No.20

2004年12月20日発行 [発行] 甲南学園広報部 〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1 TEL 078-431-4341(代)



「恩賜の杖」(鳩杖はとづえ)

鳩杖は、辞書によれば「80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生鉄三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています（入場自由）。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をこぎ業された中井久夫先生に当時の様子を書き下ろしていただいています。

敗戦直後の甲南／二両電車はぎゅうぎゅう詰め／英語の先生は肋骨を折つた／少年狙いの痴漢が出了／しかし尋常科生は車内でピーチクバー／チク／ビールを飲んだと得意気に語る／おっと背後に体罰平氣の某先生／「いいものをお飲みになりましたネ」と独特の抑揚／だが先生も今は天国／封鎖預金・財産税・農地改革の時代／なりました／されば、天皇陛下の御心配／皆お腹を空かして弁当箱は二時間目には空／帰りは天上川そばのアイキン屋／おこりおこられ水腹で帰る／甲南堂によるのも日課／店主は甲南中の先輩で立ち読み黙認／岡本への最後の三叉路の古書店／そつとブラックの画の本物をみせてくれた／転売の途中だった／空襲焼け出されたの先生方は所持ちは住吉川べりの甲南寮／自身は学校の空き部屋／メリケン粉が命の綱だが／生徒が遊びに行くと後はどうされたか／高等科三年末の某医大受験／有力者紹介／実は大市長の息子だった／別の甲南生は自治委員長／面接で首をひねられた／生徒課長／さつそく駆つけ「甲南の教育を信用していただきたい」と気迫をこめた／相手の教授は深くうなづいたと／老いた元生徒が感銘をこめて私に語った。

中井久夫先生
神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。平成16年3月に甲南大学を退職、4月より「兵庫県こころのケアセンター」所長に就任。「精神医学の経験」全8巻
他著・翻訳書は多岐にわたる。



▲ 旧制高等学校運動会



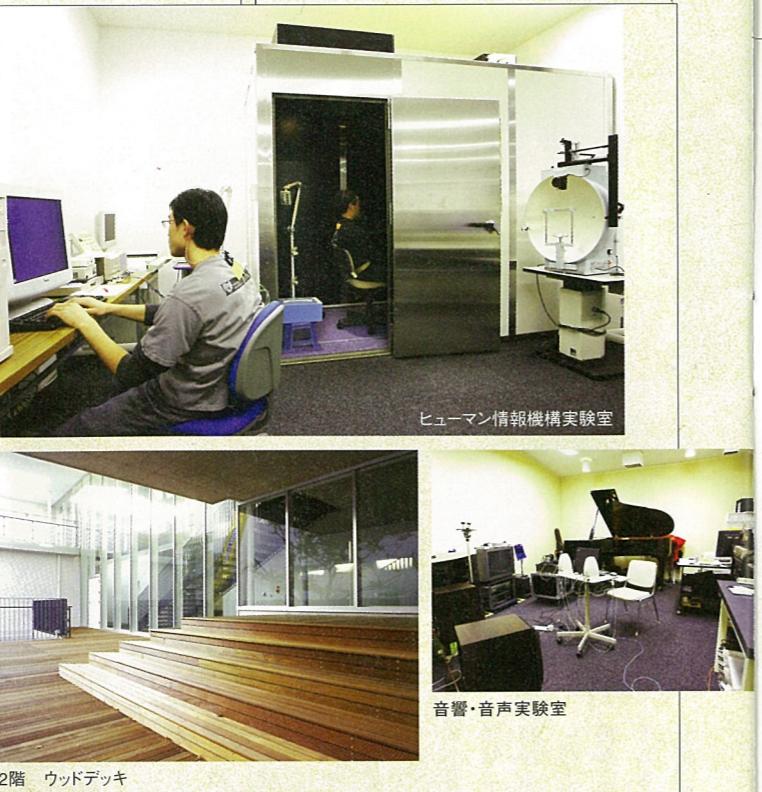
インターネットで甲南へ
<http://www.konan-u.ac.jp>

新13号館完成

社会に開かれたIT研究を実現! 情報システム工学科の拠点 新13号館が誕生

新しいビジネスやエンターテインメントを創造する推進力。あるいは、人間の暮らしやコミュニケーションのあり方まで変えていく変革力…。これら的情報技術には、そんな大きな可能性が秘められています。甲南大学では、こうした時代の情報教育の要請に応えるべく、先端的な情報教育・研究を実現する最新の設備を備えた新13号館を情報システム工学科の拠点として計画。先の9月に完成を迎え、産学連携の推進やIT人材育成、新技術の開発の拠点としていよいよスタートしました。

具体的な設備としては、MRI実験室、ヒューマン情報機構実験室、音響・音声実験室、バイオメトリクス実験室、移動式ボット実験室をはじめとする多彩な実験室を設置。単にコンピュータを使うというレベルではなく、人間の脳内情



2階 ウッドデッキ

「知的情報通信研究所」を設置
研究活動もますます活性化

13号館に設けられた「知的情報通信研究所」では、さまざまな研究を推進。文部科学省が支援を行う「オープンリサーチセンター整備事業」の一として選ばれている岳五理工学部教授を代表とする「知的情報ネットワークによる地域密着型教育の高度情報化に関する研究」もその一つです。本研究所の研究もこれからはこの設備の向上をベースにますます活性化していくと思われます。

放射性同位元素
使用施設における
不適切な安全管理について

放射性物質の管理区域外での使用および保管等の不適切な安全管理の問題については過日10月5、6日の文部科学省の立入検査により放射線障害のおそれなく、汚染は検出されず、環境への影響もないという結果がありました。

本学は、独自の「調査委員会」(学内委員4名、学外委員1名)を10月7日(木曜日)に設置し、事実関係の調査・確認作業をとおして、問題発生の原因と再発防止策について調査報告書として取りまとめ、文部科学省に対し11月15日(月曜日)報告いたしました。文部科学省からは再発防止策は妥当であると評価するという回答をいただきました。

問題発生の原因としては、①放射線業務従事者の自覚不足、気の緩み、②放射線管理委員会の管理体制の不備、また、③放射線施設の設備上の問題(施設への出入りの確認手段が立入記録以外になかったこと)があげられます。

これらの原因に対し、次の3点の再発防止策をまとめました。

(1) 放射線業務従事者らのモラルの向上を図るため、安全管理教育の徹底を図ることとともに、学内にコンプライアンス(法令遵守)・システムを構築します。

(2) 放射性同位元素の発注・受入・払出の一元的管理体制の強化を図り、コンピュータ帳簿システムにより使用・保管・廃棄の管理の効率化を図ります。

(3) 放射線施設出入り口に1Dカードによる管理を導入し、さらに監視カメラの設置により、放射性同位元素の無断持ち出しの防止を図ります。

今後は、法令遵守の徹底と再発防止策を着実に実施し、適切な運営ができる体制を構築いたしますので、皆様のご理解・協力をお願い申し上げます。

13号館の完成により、さらに開かれた研究の実現と高度なIT人材の輩出が期待できます。

産業界、教育界など、さまざまな方面から寄せられる新しい社会的ニーズを実現していくためには、より優秀な研究者・技術者・教育者を養成する指導とそれを支える環境が不可欠です。

13号館の完成により、さらに開かれた研究の実現と高度なIT人材の輩出が期待できます。

産業界、教育界など、さまざまな方面から寄せられる新しい社会的ニーズを実現していくためには、より優秀な研究者・技術者・教育者を養成する指導とそれを支える環境が不可欠です。

皆様のご理解・協力をお願い申し上げます。

今後は、法令遵守の徹底と再発防止策を着実に実施し、適切な運営ができる体制を構築いたしますので、

CONTENTS

WHAT'S NEW KONAN

●新13号館完成

- シンポジウムに懇談会、大学祭…地域、甲友、ご父母との絆を深める各種イベントを開催!
- スポーツ・健康科学教育研究センター設立記念合同シンポジウム開催
- 第40回摂津祭
- 中国・四国、近畿南部地区教育懇談会を開催



TRY with KONAN ●あなたとつくる、新たなキャンパスムーブメント

EBA in Next stage

研究室訪問

過失不作為の刑事責任

何かをしないことの責任が問われる 「不作為犯」のナゾに迫る

意志と団結力で進む、甲南生の自治活動
発進! MY PROJECT

エンターテイナー魂でステージ企画

ハガキで寄せられた疑問を徹底調査 ◆こちら甲南特捜部

恩師のいまの活躍について教えてください

創立より、いまへ受け継ぐスピリット

クラブつながリレーション

- 体育会ホッケー部
- 文化会児童福祉研究会

Pick up 高・中 Topics

図書館の活用

授業との密接な連携で 利用生徒が急増中!

トゥレーヌ甲南学園だより

フランス語スピーチコンテスト

地元紙も注目する名物弁論大会開催!

第一線で活躍中の卒業生にアクセス! ◆ IT'S KONAN STYLE

仏像一つにも、数多の価値がある それが甲南で学んだ私の真理

甲南フォーラム



表紙の絵



西井義晃 画「7号館」

西井義晃さんプロフィール
1961年 甲南大学経済学部卒業
元自由美術会員

●西井義晃小品展 2005年1月6日(木)~11日(火)
午前11時~午後7時(日曜日、最終日午後6時まで)
ギャラリー香 KAORI
大阪市中央区道頓堀1-10-7 TEL 06-6212-7750

●今後の予定
2005年 9月 7日(水)~13日(火) 大阪高島屋6階 美術画廊
2005年11月21日(月)~26日(土) 東京銀座 文藝春秋画廊
次のURLで作品集をご覧いただけます
<http://webgarou.net>



大江さんのNext stage

世界の矛盾に自分の答えを出すため、経済学を突き詰めたい

EBA総合コース 3年次 大江 敏晶さん

一年間の米国 EBA in Next stage



35人のEBAクラスは、指導の密度が濃い一方、たとえこのクラスでいい成績をとつても自分が井の中の蛙なのかどうかがわかりにくい。だから僕はアメリカで多くの学生と共に学ぶといふのは、自分を客観的に知るいいチャンスだと思っていました。でも実際にバッファロー校で1年間も実際にバッファロー校で1年間学んでみると、経済学のクラスでAを修めることができ、僕らの学びは決してレベルが低くないことを実感することができました。僕がここで得たものは、自分たちに対する自信でしたね。改めてEBAに目をやれば、周りにはすごい行動力のある仲間が多い。僕は自分がレールに乗らないと動けないタイプなので、海外よりも彼らに刺激されることが多かつたかも知れません。また、帰つて

きて思ったのは、僕は何も「世界なんて見ていない」ということ。アメリカを見ただけでやつぱり世界はわからない。むしろ、もっといろんな国を見たいと思いました。いま世界について僕が気になるのは、いろいろな矛盾について。ほら、贅沢する国がある一方で、貧困で人がバタバタ餓死する国があるのも、何だかスッキリしないじゃないですか。僕は経済学的な観点から、その矛盾を追及し、納得のいく答えを出したいと思っています。

アメリカ人のお宅に招かれ、そのお礼に日本の伝統的なディナーをみんなで作ったことも。



ルームメートと一緒に部屋のドアにペイント。そのままほったらかしにして、どうなったのでしょうか??



バッファロー校から車で30分ほどのところにあるNiagara Falls。壮大で、迫力のあるその姿は圧巻。



大講義室の授業。みんな真剣に受けていました。講義中に写真は撮れないで、これも貴重な一枚。



ハロウィンは、魔女やピエロの仮装も登場。平日なのに、すごく盛り上がりで楽しんだ貴重な思い出。



放課後や休日は、EBAのみんなやほかの国の寮生たちとバスケットなごとして楽しんだ貴重な思い出。



すごく積もった雪で、雪だるまづくり。アメリカ式は頭・胴体・足(?)の3つの玉を積み上げるのだと。



寮周辺で撮影した一枚。日本と違って辺りに大きな建物のない、とてものびのびした環境でした。

武者修行を経て、次に踏み出す一歩の行方は？

2003年後期よりアメリカ ニューヨーク州立大学バッファロー校で世界の学生たちと共に学んでいたEBA総合コースの1期生たちが1年間の学習を終えて帰国。この秋から甲南キャンパスでの学びを再開しています。彼らはこの1年間の留学をどう過ごし、どんな成長を遂げたのでしょうか。また、そこからどんな次のビジョンを見つけたのでしょうか。いよいよ鍛成・展開のときを迎えるEBA学生、その可能性をクローズアップします。

Next stage

久保さんのNext stage



二 ニューヨークでは国籍を問わず、友達をたくさんつくることができました。中でも香港やマレーシアなどアジア各国からの留学生仲間には刺激を受けましたね。起業や研究者を目指すなど最初から確固とした目的をもって留学している人が多く、自ら学ぼうとする姿勢がすごいんです。「私はしっかりしなくちゃ」と思いました。でもそんな彼女たちも、学びを離れる普通の学生。日本人と感性も似ているし、それにアメリカやヨーロッパの人々は、日本への理解があり、関心も深い

んです。彼らと話すうちに、私も自然と彼らの国に親しみを持つようになりました。留学前は漠然と「海外と関わりのある仕事がしたい」と思っていた、海外といえどアメリカやヨーロッパ、というイメージしかなかつたのですが、「近所のアジア各国とともに密につながりを持つことも大切なこと」。アジアと日本をつなぐこと。アジアの人たちにもっと日本の人たちにもアジアの理解をもつて深めてもらいたい。もう一度、近所のアジア各国ともっと密につながりを持つことの大切なじやないかな、と気づいたんです。そななかでカタチになってきた夢は、少しあります。大学生活もあと一年と少し。専門性の高い講義を受けて、グローバルスタンダードな経営センスを身につけたいです。

EBA総合コース 3年次 久保 加奈さん



アジアと日本の掛け橋となるような仕事をしたい今は、そのための力をつけています

バッファロー校での1年間

次の一步は、もう始まっている

Next Stage Topics

インターンシップ

帰国後、ますます自発的に活動するEBA学生の中には、企業に赴き、ビジネスを体験する学生も。ここではインターンシップを行った廣瀬さん、受け入れた(株)富士インダストリーズの山田社長からその様子をお聞きしました。



EBA総合コース
3年次
廣瀬 英太さん

自分の将来は見つからない 待っているだけじゃ

僕は自分の将来の一つの選択肢として総合商社を描いているのですが、人の話を聞くだけでは、本当にそれが正しい選択肢かどうかわからんせんでした。いつもこのこと体験する方が早いなと思い、キャリアセンターに相談し、航空機・産業機器貿易商社「富士インダストリーズ」でのインターンシップを紹介していただきました。ここで僕は市場開発部に所属させてもらい、新商品をどんな市場に提供すべきかなど、マーケティングを課題として与えられました。正直わからないことばかりでした。いいと思って提案したものの、「市場規模を考えない」と顔面にパンチを食らったような日もありました。2週間という短い期間だったものの、インターンシップを通して得て、感じたものはこれまでになく新鮮ですが、がっしいものでした。商社を希望する僕として、行動派であることの大切さを改めて教わりました。

「近頃の学生は」という言葉は、もう止めます

私は自身甲南のO.BとしてEBA学生に見てちょっと驚きましたね。仕事に取り組む前向きな姿勢が素晴らしい、役員の前でのプレゼンテーションで物怖じしない度胸もある。きっと留学などを通して彼らがやってきたことは、英才教育というスマートなものではなく、もっと泥臭いものなんでしょうね。ギリギリのところではいつもって頑張ってきたからこそ、彼には目を見張る部分があったんだと私は思います。また、キャリアセンターの指導のたまものか、ビジネスマナーもよく身についていました。普通インターンシップで学生を受け入れるという、学校への協力と思われがちですが、廣瀬くんには社内のムードを変える若さとエネルギーがあり、我々の方が恩恵を受けています。教育にあたった現場の社員から「毎年受け入れてください」と言われているくらいなんです。



(株)富士インダストリーズ
代表取締役社長
山田 純嗣さん
('69年経営学部卒)

メンター授業

メンターとは、応援団のこと。教授ではなく、留学を終えた3年次生が、1・2年次生の英語を指導する授業を開設しています。3年次生、1・2年次生ともに、お互いに学ぶことで一段より深い、立体的な理解が可能になります。

ワークショップ

ビジネスの第一線で活躍されている方を教室に招き、意見を交換しながら学ぶ授業がスタート。2004年度特別客員教授は以下のとおりです。

- (株)パソナ代表取締役グループ代表 南部靖之氏
- (株)ザ・アール代表取締役社長 奥谷禮子氏
- ミズノ(株)代表取締役社長 水野正人氏
- UCC上島珈琲(株)代表取締役会長兼社長、CEO 上島達司氏
- (財)国土技術研究センター理事長 大石久和氏



現地に同行した渡邊教授が
EBA学生の進化を証言

「発信力」

express oneself

アメリカではドミトリー(共同部屋)に入り、世界から集まった学生たちと一緒に生活します。他国の学生たちは一様に自己主張する力を備えているので、ここで交流するには、どんな形でも、自分から発信していかないとだめなんです。今回、様子を見ていますと英語が得意な学生はどんどん友達を作り、外へ出て行くし、苦手な学生は、自分の特技のバイオリンを奏でたり、存在をアピールしてましたね。順応力もついたようです。

「語学力」

linguistic knowledge

留学中は外国人用の特別授業ではなく、アメリカの大学のスタンダードの授業に世界中の学生とともに参加します。EBAではこの難題に通用する力をつけるため、入学してから1年半、徹底的に英語を習得して臨みます。しかし現地では、授業だけでなく、当然生活すべてが英語。英語ができるとルームメイトとも会話できないし、コミュニケーションさえ取れない。ハードですが、そこに生活がかかっているので、格段に語学力が高まったようです。

「集中力」

the ability of concentration

一番大きく変化したのはこれでしょう。学生たちは不慣れな英語を通して知識を習得しなければならないので、現地での授業中、教授の言葉一つひとつを聞き逃せません。最初はどこで重要なことが語られているかわからないのですから、当然ですよね。そんな張り詰めた毎日を過ごして帰国すると、今度は日本での授業に対しても食いつきが違います。少しでもわからなことがあります、その場で質問を投げかけてきますし、我々も気が抜けません。

「視野の拡大」

expand one's view

EBAではニューヨーク州バッファローの地元企業へ訪問し、アメリカのリアルなビジネス空間を体感します。すると彼らは、アメリカ企業の力だけでなく、比較によって日本企業のレベルの高さにも気づくんですね。そして自分も確かにビジネスプランさえ確立すれば、アメリカでも勝負できるのではないかと大胆に考え始めます。そんなワールドワイドな視野の拡大が、新たな起業家の育成につながるのではと期待しています。

「自信」

confidence

最初の数ヶ月は講義を受けるにも、仲間をつくるにも勝手がわからぬのであたふたしているようです。しかし、次第に外国語での授業にも慣れ、要領をつかんで自分のリズムができると、皆一様に表情が明るくなります。日本にいるときはなかなか感じることのできなかった“自分で生きているという自信”がつくからなんですね。これは、恐れずに次の一步を踏み出す力になる。実際に我々が思っていた以上に大きな糧となっているようです。

勝手のわからない国で、自ら学ぶ
その環境が、多くの潜在力を引き出した

EBAの1期生。彼らの成長ぶりは、現地で見守った私にとっても驚くことばかりです。彼らは激変した生活環境のなか「1年かけて自己の確認を行った」と皆同じ感想を述べています。何が得意で何が苦手か、モチベーションが保てるか、どうやって自分をまわりに認めてもらおうかななどを、未知の環境の中で何度も繰り返し問い合わせ、そこでどう激しサポートしていくかが新たな課題だと思っています。

渡邊教授
の
総評



研究室訪問

先生、知の最前線を
教えてください!



なぜか結論が見えにくい 過失不作為による刑事事件

これは2004年9月29日の神戸新聞に掲載された刑事事件の記事。

「二〇〇一年七月、十一人が死亡するなど多数の死傷者を出した明石市の歩道橋事故で、業務上過失致死傷容疑で書類送検され、いたん不起訴処分となつた後、神戸検察審査会が起訴相と議決した元明石署長（62）＝依頼退職＝と副署長（57）＝現兵庫県警運転免許試験場長＝について、神戸地検は二十八日、いずれも「嫌疑不十分」などとして、再び不起訴処分にした』とある。おそらく、皆さんの記憶にもまだ新しいことだろう。

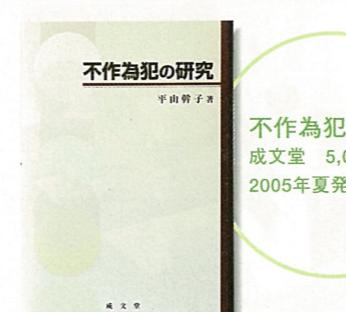
結論の賛否については、さまざまな意見があると思われるが、それについても「審議のたびにこうも判断が入れ替わるのはなぜ」と多くの人が感じているのではないだろうか。刑法という確固たる基準に照らして法的判断がなされているはずなのに、どうしてこんな曖昧な結果が出るのだろうと、あなたも疑問に思つたことはないだろうか。

刑法に詳しい法学科の平山先生に、率直な疑問をぶつけてみた。「実はこれらの問題は、刑法



法学部法学科 平山 幹子 助教授

立命館大学大学院法学研究科博士課程後期課程修了（ボン大学にて在外研究）。博士（法学）。2004年4月より甲南大学法学院助教授。刑法を専攻し、「不作為犯」と「共犯」が近年の研究テーマ。『はじめての刑法』（成文堂・2004年）では「児童虐待と不作為の刑事责任」・「欠陥製品の製造・販売・リコール隠し」を執筆。



不作為犯の研究
平山幹子著
成文堂 5,000円（税込）
2005年夏発刊予定

何かをしないことの責任が問われる 「不作為犯」のナゾに迫る

の中でも非常に難しい「過失不作為犯」という分野にかかります。不作為犯とは、「ある一定の行動でないことによって成立する犯罪のこと」。例えば、嬰児にわざと食べ物を与えないで死亡させた母親を殺人罪（刑法199条）の「人を殺した者」として处罚する場合がこれに当たります。明石市の歩道橋事故の場合で言えば、適切な措置をとつておれば雑踏事故の発生を回避できてもかかわらず、それをとらずにいたという不作為が「人を死傷させた」ことに当たるとして過失責任を問うる場合には、事故の警備などに携わった人のうち、誰が適切な措置をとるべき法的な義務を負っていたかを、まず明らかにしなければなりません。しかし、まのところ、それがどの範囲で認められるのかが明らかにされていないため、結論をややこしくしているのです」。

システムが複雑化した社会では 誰の責任かが見えにくい

しかし、同じような事件は、これまでの歴史の中でも幾度となく繰り返されてきたはず。なぜいよいよ今まで、過失不作為の刑事責任について誰もが納得する線引きがなされていないのだろう。「一つには、社会の構造が時代によつて変化することを理由として挙げることができますね」と平山先生。「最近は、あらゆるシステムが複雑化しており、一つのことに多くの人がかかわっています。例えば、メーカーがある製品をつくるにも効率化のため、パートと一緒に分け、別の工場で、別の責任者のもとで生産するでしょう。結局、不作為の責任問題が起きたとき、誰が何をしなければならないのかを追及しにくい社会構造になつてきています」。

歩道橋事故においても、争点の一つは、「誰にどこまでの現場裁量を認めることができるのか」だつたという。しかし事故を招いた花火大会の主催やその警備計画にしてみても、市、警備会

刑法の限界を示すことも 刑法理論の役割

社、警察など複数の組織がかかわるうえ、それぞれの組織内部でも責任が細分化されている。同事件をめぐって近日中に開始される公判の行方は、簡単には予測できない。

また、責任の所在がクリアでないから、誰の目にも明らかな結論が出ない。つまり、不作為犯の事件は後に禍根を残しやすいという課題がある。いつそ責任の網を広げ、例えば、総責任者には事情を問わず、刑事責任を問えるという明解な規則を設ければとも思うが、平山先生はそれに待つたをかける。「本当に私たちが頭を悩ませるものそこ。確かに、そんなふうに規制すれば手つ取り早いとは思います。しかし、刑罰というのは法が科しうる罰として最も厳しい最後の手段ですから、できるならそれを使わずに済む方がいいわけです。私たち刑法学者が、犯罪の成立や不成立の説明に議論を重ねているのは、何も明快な結論を出すためだけではありません。『どうあがいても誰もが納得のいくこれ以上の処罰や不処罰の理屈を示せない』という刑法の限界を理論的に示し、より厳しく求刑する被害者側にもそこでコンセンサスを得るようになります。反対に、被害者や社会にとって有益な政策なし立法を促すためもあるのです。それもまた、刑法や刑法理論の大切な役割なのです」。

薬害エイズ問題しかり、内縁の夫が子どもを殺害するのを放つておいた母親しかり…。新聞やニュースで取り上げられる（過失）不作為の事件は数え上げればキリがない。その多くは、明快な判断基準が出ないため、いろいろな論議を巻き起こしている。今後こうした問題に対し、責任の所在がどのように定められ、どういう結論が導かれていくのか。これからは皆さんも、一つの事件の表層だけでなく背景にある刑法の役割まで考えながら読み解いてみると社会を見る一つのモノサシになるのではないかだろうか。

セミ生に聞きました 平山先生って、どんな人ですか？



自己PRは写真でも可！
話のわかるお姉さんタイプです

法学部法学科
3年次
平岡 晶子さん

概念的な刑法を丁寧に
解説してもらいます

法学部法学科
3年次
池嶋 健二さん

先 生のゼミは最初希望者の人数が多かったので、一人ひとり自己PRの宿題を課されたんです。普通ならキチッとした文章を求められると思いますが、私が海外の最高裁に行ったときの写真を貼り付けて提出したら先生は「面白い！」と言って選んでくださって。ユニークな先生だと感じています。

面白目なだけじゃない
気さくに話せる先生です

法学部経営法学科
3年次
小松 恵介さん

みんなの意見を聞く先生
だから、議論が盛り上がる！

法学部法学科
3年次
荒川 勝宣さん

先 生は一見、真面目でとことん頭が固そうに思えるのですが、ゼミでちよつと集まりを開いたとき、「差し入れ」と言って日本酒を三本持って来られたことがあって（笑）。オンドオフのイメージのギャップに驚かされました。やるときはやる、遊ぶときは遊ぶ素敵なお先生だと思います。

1 年のときも基礎ゼミを体験しているのですが、平山先生のゼミはそのときと全く違いますね。以前のゼミは、先生の話を聞くことが主体でしたが、平山先生は僕らの話を積極的に聞こうとしてくださるので、授業中もみんなが思うように発言できる。おかげでついゼミにのめり込んでしまいます。

こちら甲南特捜部

POST

誌面作りに対する
ご意見・ご感想

●TRY with KONANを読んで就職活動がどれだけ大変かが分かりました。企業の本音が聞けて、今後の参考にさせて頂きたいと思います。(不明・男)

●現在、長年の企業人生を終え3年前から某大学で就職指導をしています。TRY with KONANはその意味で非常に参考になりました。(不明・男)

●在学中に分からなかった部署について内容が分かりました。卒業してから改めて内部の事がわかると案外面白いものですね。(’98年卒・男)

●20年の月日と大地震を経ても、本校舎や基本的なレイアウトがほとんど変わっていないことに懐かしく思いました。(’84年卒・男)

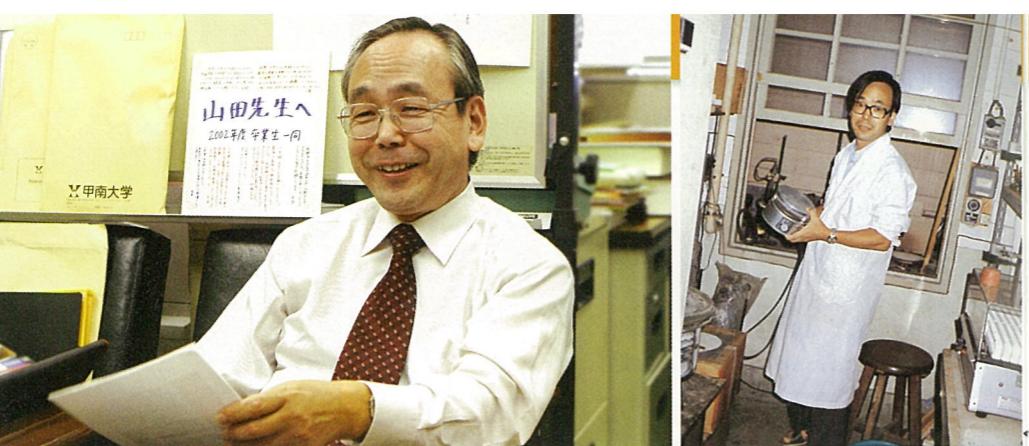
●4回生の時に初めてイリノイ大学から留学生が来たのを覚えています。当時はキャンパスも狭く、あまり自慢できるものではありませんでしたが今は自信を持って甲南を紹介できますね。(’77年卒・男)

●神戸を離れているので甲南Todayが届くとなんだか気持ちが和みます。カラーで見やすく内容が充実していて、全体的にとても楽しんで読んでいます。(’90年卒・女)

●入学して甲南大学で一番好きになったのは、その自由で大らかな校風でした。鳩杖を毎号読んでいますが、その素晴らしい校風の原点、元々の姿を知る度に、良い学校だったことを誇りに感じております。(’96年卒・女)

あなたの声で、このページをつくりませんか？

「こちら甲南特捜部」は、皆さまのお便りをもとに構成するページです。日頃から甲南大学に対して感じた疑問を、どしどしお寄せください。また、誌面作りに対するご意見・ご感想もお待ちしています。



▲1979年 研究室にて



有機化学研究室の顔、
山田先生は、いま?
理工学部 山田 隆己 教授

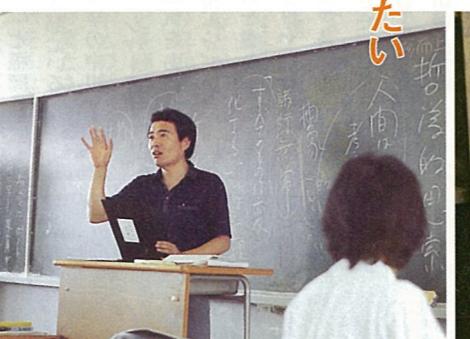
赴任当時と変わらない情熱を
研究に注いでいます

現在私は「異常アミノ酸を含むペプチドに関する研究」を研究室の学生たちと行っています。甲南に赴任した頃、私は変わったアミノ酸を多く含む抗生物質の合成の研究を始めましたが、当時これは私にとって非常にチャレンジングなテーマでした。いまもその異常アミノ酸の研究に対する情熱を持ち続けています。また、そんな私の研究室では、学生の方も自分が納得のいくところまでどことん研究する人が多かったです。以前は、結構遅くまで付き合って実験するのが日常茶飯事でしたし、いまでも学会発表前には午前さまになることもあります。甲南に赴任した頃、私は、さすがに深夜はキツくなってしまった(笑)。それから、学生諸君との研究活動の中でとくに忘れないのが阪神淡路大震災。学生たちの実験室から火が出たため、実験を記録したノートや合成試料が焼けてしまい、当時卒業を間に控えていた人はやり直しがきかず、本当に氣の毒でした。彼らもさぞ悔しかつたことでしょう。あの震災から早くも十年経ちますね。研究室も、甲南も力強く立ち直りましたが、これからは少子化などでますます大学が厳しくなる時期。卒業生の皆さんもぜひ母校を見守り、応援してください。

PROFILE◆1965年京都大学大学院理学研究科修士課程修了、以後京都大学理学部助手を経て、1969年より甲南大学理学部講師。現在は理工学部機能分子化学科教授、理学博士。専攻は有機化学(主に、アミノ酸、ペプチドの化学)

皆さんの中には、私にこうびどく叱られた覚えがある人も多いのではないか(笑)。私はいい素質を持っているのに努力せず、才能を無駄にしている生徒を見ると、もう我慢ができないタイプ。職員室ではなく、準備室に生徒を呼びだして、二人きりでどことん話すことが結構ありました。そんな性格は、いまもまったく変わりませんね。卒業生に会うと、「先生は怖かった」とよく言われるけれど、ホントは怖くないんですよ(笑)。教科を超えた指導にまで、なぜかくなるのか。ときどき自分でも不思議に思うのですが、やはりそれだけ生徒が好きなんでしょうね。そもそも大学の研究助手だった頃に高中の先生から講師に誘われ、二つ返事で引き受けたのも教師という職業に大きな

やりがいを感じていたからだと思います。卒業生の諸君は、皆どんな大人になったでしょうか。世間の道徳を守るだけではなく、自分なりの美意識をしっかりと生きてもらっていたらうれしく思います。私もまだ、もっとカッコイイ老年を目指している。キミも、ますます懸命に、爽やかに、いい自分“を生きてほしいですね。

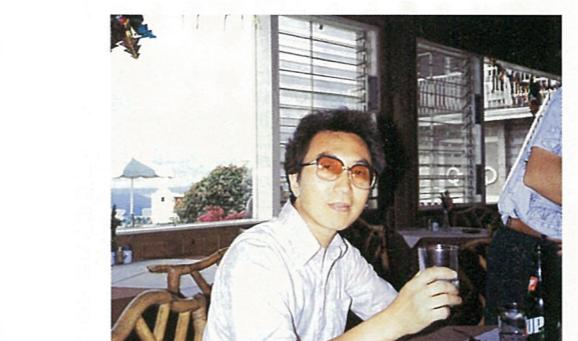


▲1975年 当時の授業

PROFILE◆1968年甲南大学文学部国文学科卒、以後文学部国文学科人文科学研究科研究助手。1970年からは甲南高・中の講師を兼任し、1973年より正式に甲南高・中の国語科教師として着任。



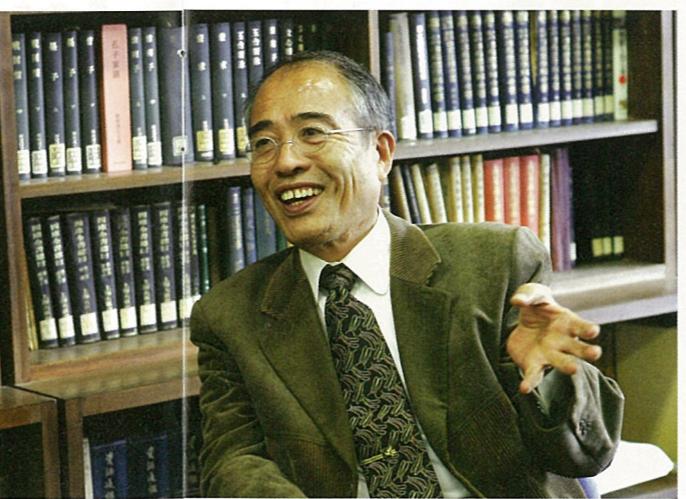
生徒一人ひとりに体当たり
指導の山西先生は、いま?
甲南高・中 国語科教員 山西 商平 先生

その人の「美意識」を育てたい
想いはいまも変わりません

▲1982年 ゼミ旅行先のマニラにて

甲南大学会計高等教育研究所所長として、平成18年度を目標にスタート予定の会計大学院の開設準備で大忙しです。すでに他大学にも多い法科大学院とは異なり、平成17年から始まる会計大学院は全国で10校だけ。当然不明な点も多く、悪戦苦闘していますが、いまも新しいことに頑張っています。ゼミ生の諸君も元気で活躍されているでしょう。ざっと計算してみると、私がこの33年間で教えてきたゼミ生は概算で500人、大学院生は同じく40人程度。その彼らに対し、私がとくに伝えたかったのは、在学中に「自分の職業観をしっかりと持つこと」でした。会計学は実務と表裏一体であるゆえ、自分ではつきり

目的を見定めないと、結局社会で生かせないという可能性があります。少しでも彼らの将来に結びつくようにと、実務家を招いてゼミ・授業を行ったり、ざつくばらんに話せるゼミコンパを多く設けたりしていましたが、結果はどうだったのか。その間に、皆さんが自分の目的を見定めて有益な時間を過ごし、そしていまも元気で活躍してくれているとしたら本当に嬉しく思います。



PROFILE◆1969年神戸大学大学院博士課程修了、以後名古屋学院大学経済学部助手を経て、1971年より甲南大学経営学部専任講師。現在は経営学部教授。経営学博士。専攻は会計学、監査論。



今回の
調査依頼



会計学も、ビール好きも
ドイツ仕込みの加藤先生は、いま?
経営学部 加藤 恭彦 教授

会計大学院の立ち上げに向け
悪戦苦闘中です



フランス語スピーチコンテスト

地元紙も注目する 名物弁論大会開催！

フランスにある在外教育施設としては、やはりなんと言つてもフランス語教育の充実が最重要課題です。その一環として、本校では毎年「フランス語スピーチコンテスト」を開催し、生徒の意欲を喚起すると共に、地元の方々にも本校生のフランス語への取り組みを理解していただき機会としており、今年で既に7回目を数えます。

コンテストは予選と決勝に分かれています。まず全校生徒を学習歴によって3つのグループに分け、テーマを与えて予選を行います。毎年それとのレベルに合わせて工夫したタイトルがフランス語科から出されますが、今年は左下欄のようなものでした。生徒たちは、好きなテーマを1つ選び、担任の先生と相談しながら日本語を考えます。その後

自分でフランス語に直し、仏語科の先生のチェックを受けて予選に臨みます。予選は放課後を利用して少しずつ行われ、前サンシール市助役で現地理事のダヴィエ氏の奥様が審査員として協力してください、本校のマルチネ先生と一緒に、厳しい審査を行います。このようにして各グループから優秀な生徒たちが選ばれるわけですが、決勝進出者は更に発音や抑揚、ジェスチャーなどを各自で特訓して決勝に臨みます。

決勝ではこの日のために毎年特別にお招きしているトゥレーヌ詩の会の会長さん、地元紙ヌーベルピュブリック社の副社長さん、お隣のベシェリ中学の校長先生、そしてダヴィエ前サンシール市助役さんといった鐘々たる審査員の皆さんを前にして、全校生徒と教職員、そしてホームステイ先のフランス人家族の見守る中、一人ずつ舞台に立ち、マイクを通してスピーチをしなければなりません。その緊張たるや想像を絶するものがあると思うのですが、そこは日頃から皆の前で発言する訓練を受けている本校のこと、中1から高3までの生徒が、ほとんどよどみなく立派にスピーチをしていきます。内容も笑いあり、涙あり、哲学あり、政治ありと多岐にわたりており、審査員の方々だけでなく、多くのホームステイファミリーが毎年このコンクールを楽しみにしてくれています。

さて、今年の決勝は11月10日(水)に行われ、グループ1から7名グループ2から7名グループ3から10名の計24人が進出しました。皆それぞれ思い思いの工夫があり、充実したスピーチが続きました。審査員の方のコメントにもありましたが、年々レベルが上がり、発表者の力の差がほとんどないため、今

生徒が挑んだスピーチテーマ

グループ1(学習歴1年未満)
 ①あなたはオリンピックで金メダルを取りました。記者の質問に何と答えますか。
 ②一人で無人島に行くとしたら、何を持っていきますか。なぜ?

グループ2(学習歴2年未満)
 ①人生の中で絶対に成し遂げたいことをあげて、説明してください。
 ②タイムマシーンで過去に戻れるとしたら、あなたはどの時代のどこに行きたいですか。

グループ3(学習歴2年以上)
 ①宇宙人に、地球とはどんな星か説明してください。
 ②あなたが最も尊敬している人について、話してください。

部屋を想像される方も多いでしょう。しかし、現在の甲南高中的図書館は、昼休みや放課後になれば、各教室から生徒が次々に集まり、常駐している3人の司書も大忙し。何も、本の虫“だけの部屋ではありません。

では一体、本学の図書館は、なぜこれほど生徒が集まるのでしょうか。その理由の一つとして、甲南では普段から、図書館を利用した授業が多いことが挙げられます。

例えば、総合学習を行う「E-STUDY」「情報活用」や国語・社会などの科目では、図書館を“調べ学習”的教室としてフルに活用。生徒は5万冊の蔵書や用意されているモバイルパソコンでインターネット検索を行い、自分の関心を喚起することにも結びついています。昼休みや放課後に図書館に集まる生徒の多くは、授業で発見した自分のテーマを、さらに深めるために集まっているのです。

また、ガイドを徹底しているのも、一つの理由です。従来の図書館は、司書に尋ねることができます。必要な本に行き着くことができましたが、いまはマウスのクリック一つであらゆる情報が得られる時代。図書館にも、情報に素早くたどり着ける仕組みが求められています。本学では、本のキーワード検索システムを、タイトルだけでなく、内容からでも検出できるよう改善したり、月ごとに企画を設けてオススメの本を紹介するコーナーを設けるなどして、学生が自分で本に出会えるよう工夫しています。

97年に5千冊程度だった貸出冊数が、昨年度は3万冊近くまで伸びているのは、こうした取り組みの結果と言えるでしょう。このほか図書館のホームページには、さまざまなサイトへのリンク集も設置。これからは従来の図書館としてではなく、情報の総合窓口として、ますます多くの生徒に利用される施設を目指していく予定です。



Pick up 高・中Topics

図書館の活用

授業との密接な連携で利用生徒が急増中！



図書館長 南里章二先生

みんなどんなふうに図書館を利用している？図書委員に聞いてみました

甲南体験 NOW!



伊木勇人君 甲南高等学校3年

西尾裕亮君 甲南高等学校2年

後藤優一君 甲南高等学校3年

いよいよ結果発表です。聴衆と発表者が固唾を飲む中、司会のマルチネ先生より、各グループの優勝者とサンシール市特別賞に選ばれた4名の名前が読み上げられました。グループ1からは「無人島には大好きな馬を連れていく」と話した高1の阿原かおりさん、グループ2からは「イスラム人を父親に持つ自分が好きで、世界中の民族交流に人生を捧げたい」と話した高2の綱島久美子さんが、そして最もレベルが高く激戦となったグループ3からは、テロなど地球人が抱えるさまざまな問題を取り上げながら「白黒はつきりさせようとしすぎる」とがよくない」とのメッセージを宇宙人「エーディー」に語りかけた中3の田村黎君が、並み居る強敵(?)を退けて優勝されました。名前が呼ばれるたびに、観客席からは拍手と歓声が沸き起こり、各受賞者は顔を紅潮させながら演台前に進み、校長から賞状と賞品を受け取りました。

この様子は毎年地元紙にも取り上げられ、生徒たちの頑張りがそのまま本校のアピールにもつながっています。将来的には、もっと大勢の地元の方々をお招きし、一般市民の前で堂々と自分たちの意見を述べる機会になるよう願っています。このように「フランス語スピーチコンテスト」は、これからもずっと続けていきたい本校の大重要な行事の一つです。

第一線で活躍する卒業生に、甲南時代の思い出や活躍の秘訣をおうかがいするこのコーナー。今日は、奈良・東大寺の筒井さんをインタビュー。クラブにのめり込んで得したことなどを語っていただきました。

父

親の後を継ぎ、小学生の頃から仏門に入りました。なぜ甲南大学に進学したのかとよく聞かれますが、実は私、大学という

ことわざの仏像・絵画・建築・庭園などを研究するクラブ。当時甲南には特色あるクラブが多く

私も仏門の知り合いから聞き及んでいました。ちょうど仏教を信仰としてだけでなく、美術や文化の側面から考えてみたいと思っていました。

もあり、甲南大学(古美研)を選択しました。

活動してきたことは忘れられませんね。当時、古美研には150人が在籍していましたから、みんなが本気になり、力を合わせればかなり深い調査ができました。兵庫県の全ての寺社を手分けしてしらみつぶしに参拝・調査し、埋もれていた重要文化財の発見に貢献したのも当時を飾るエピソードです。主な調査は、建築、彫刻、絵画、庭園の4班に分かれて行い、私は彫刻班の一員として活動していました。面白のは、やつてみると次第にいろんなことが見えるようになります。例えば、私はそれで東大寺の千年を超える文化財に囲まれて過ごしてきましたから、小さなお寺の新しい仏像などにあまり価値を感じていなかつたのですが、実際に地元の人たちがそういう仏様に「心に」お祈りされている様子を見て、自分の価値観がいかに偏ったものか思い知らされた気がしました。

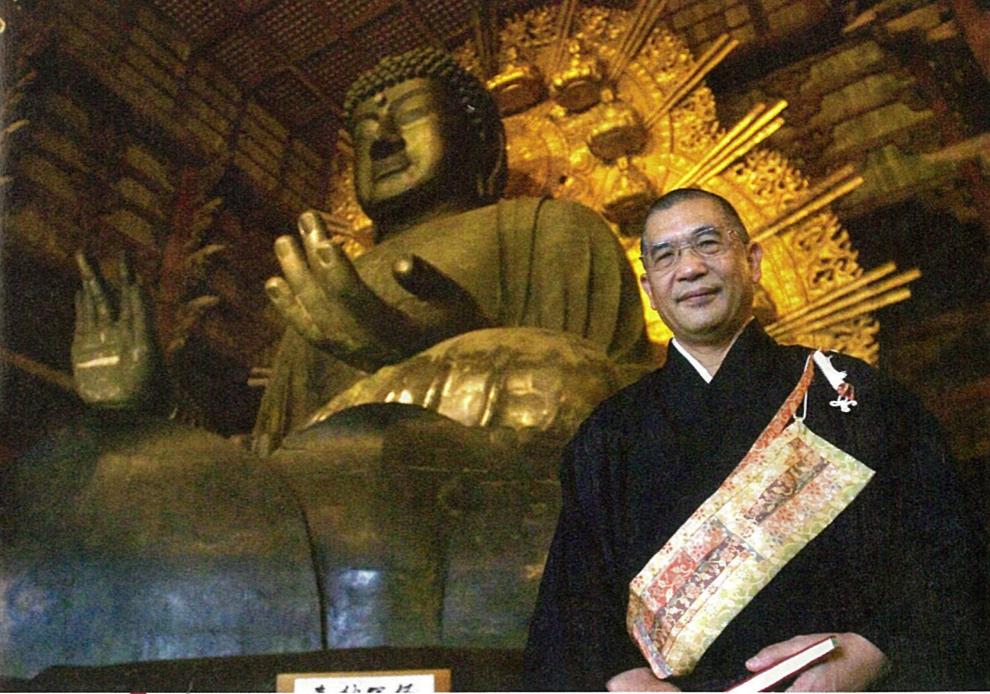
それをどう見るかは、自分次第ということです。古美研で知ったそんなモノの見方は、あれからずっと私の中に生きているんです。いまは東大寺の庶務執事を務めており、権大僧正といふ立場で講演を頼まれることも多いのですが、そんな機会の中でもいろいろな価値観の大切さをお伝えするようになります。

また、今年からは奈良甲南会の代表も拜命することになりました。卒業生が甲南大学に行つてよかつたと思えるのは、卒業してからの活動にも影響されますから、できるだけ活発に交流し合える場を提供していきたいですね。また甲南大学には、私のように憧れて入学する学生が増えるよう、ますます個性豊かな魅力を培ってもらいたいと願っています。



仏像一つにも、数多の価値がある それが甲南で学んだ私の真理

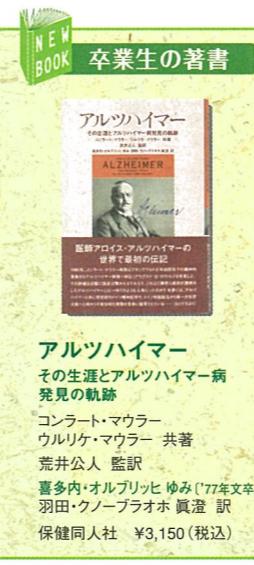
筒井 寛昭さん 1968年文学部卒業



PROFILE◆父親の後を継ぎ、1955年より東大寺に入寺し、3年後に得度。1968年に甲南大学文学部社会学科を卒業後、東大寺の寺務所詰となり、本格的に業務に携わる。1996年に権大僧正を拜命。現職は東大寺塔頭龍松院住職、東大寺庶務執事。奈良甲南会会長。

筒井さんの 甲友録

- 橋本 博史さん
'00 文学部
日本語日本文学科卒業
龍藏院住職
- 武田 耕司郎さん
'66 文学部社会学科卒業
(株)ささや商店
- 葛原 弘さん
'68 文学部社会学科卒業
(株)つたはら 代表役員



保健同人社 ¥3,150(税込)

甲南フォーラム KONAN FORUM ダイジェスト

先端生命工学研究所の プロジェクトが 兵庫県COEに採択

先端生命工学研究所(FIBER)の研究プロジェクト、「オーダーメード機能を持つ細胞サブナノファイバーを大量生産できる細胞工場の開発」(プロジェクトリーダー・先端生命工学研究所長 杉本直己)が、「平成16年度兵庫県COEプログラム」に採択されました。

本プロジェクトは白鶴酒造株式会社(神戸市東灘区)との共同研究チームによるもの。甲南大学の持つ核酸質構造制御技術やタンパク質の機能・構造制御技術と、白鶴酒造のもつバイオテクノロジーが一体となつたプロジェクトです。ナノバイオテクノロジー研究実績を有する甲南大学先端生命工学研究所と醸造業界のリーディングカンパニーである白鶴酒造株式会社が連携することで、バイオテクノロジー・ナノテクノロジーの融合・発展が一層推進され、これらの分野に伝統のある兵庫県、特に両者の位置する阪神地域の次世代産業の創出に貢献すると期待されています。

甲南学園関係者4名が 秋の叙勲・褒章を受章

11月3日付けて、2004年度の秋の勲章・褒章受章者が発表され、中田耕三教授(法科大学院教授)が瑞宝重光章を、畠村繁名譽教授(元法学部教授)および濱口博士名譽教授(元文学部教授)が瑞宝中綬章を、藤江環氏(元トゥレース校長)が瑞宝小綬章を受章されました。

兵庫県による、知の創造と活用による新産業・事業の創出と経済の活性化を図るために、県内の卓越した研究機関COE-center of excellenceによる戦略的な研究プロジェクトを支援する提案公募型の研究補助制度です。

会計大学院準備のため 会計高等教育研究所を発足

会計大学院の設立準備並びに会計大学院における教育内容・方法等及び成績評価、入学者選抜の研究開発を行うことを目的として、10月1日に会計高等教育研究所が



ゴルフ、準硬式野球、陸上競技 3クラブの健闘を称賛

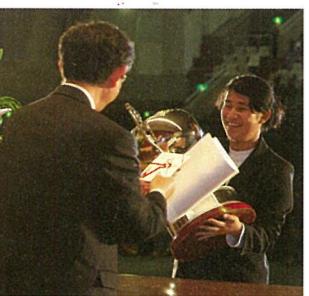
設置されました。加藤恭彦経営学部教授が所長、河崎照行経営学部教授ほか3名が兼任研究員を務めます。事務室は9号館3階経営学部事務室内に設けられました。

【陸上競技部】
9月25日(土)・26日(日)に平塚陸上競技場で行われた第2回日本学生陸上競技ジュニア選手権大会にて、女子4×100メートルで杉山佳美(経営3年)が4位入賞、女子800メートルで山下世梨香(法3年)が8位入賞を果たしました。また、10月9日(土)・10日(日)に群馬県敷島公園陸上競技場で行われた第88回日本陸上競技選手権大会にて、赤崎元美(文1年)、鈴木由希子(経営3年)、丸山舞子(文1年)、杉山佳美の女子4×100Mリレーで、47秒54のタイムで5位入賞果たしました。

11月7日(日)、一年間顕著な活動を行い、内外にわたり広く甲南文化の名声を高めた文化会各団体に次の各賞が贈られました。
【学長杯】女声合唱団アモローザ
【理事長杯】観光事業研究会
【父母の会会長杯】交響楽団
【同窓会会長杯】人文地理学研究会
【学生部長杯】児童福祉研究会
【文化賞】歌舞伎文楽研究部
JAZZ研究会

11月7日(日)、滋賀・琵琶湖カントリークラブで行われた関西オープンにて吉田泰典(経営4年)が49位に入り、ベストアマとなる。

また、関西学生会長杯では1位 吉田泰典、2位・万袋裕紀(経営1年)、3位・岩元洋祐(文3年)と、甲南大学が上位を独占した。



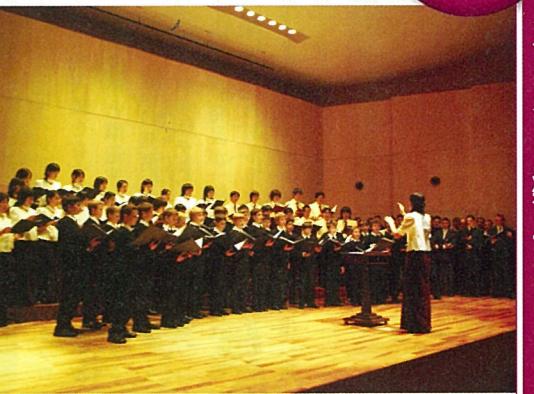
【準硬式野球部】

8月13日(金)～17日(火)に、茨城県水戸市で行われた関西オープンにて吉田泰典(経営4年)が49位に入り、ベストアマとなる。

また、関西学生会長杯では1位 吉田泰典、2位・万袋裕紀(経営1年)、3位・岩元洋祐(文3年)と、甲南大学が上位を独占した。

野球部が野球部史上最高成績に並ぶベスト4入りを果たした。今年度、投手の長山(文3年)と、甲南大学が上位を独占した。

また、関西学生会長杯では1位 吉田泰典、2位・万袋裕紀(経営1年)、3位・岩元洋祐(文3年)と、甲南大学が上位を独占した。



ベルリン国立合唱団と グリー・女声合唱団が ジョイントコンサート

10月6日(水)、本邦初公演となる神戸公演(10月7日)にさきがけて、ベルリン国立大聖堂・芸術大学少年合唱団が本学に来学し、甲友会館大ホールにて本学グリークラブおよび女声合唱団アモローゾとのジョイントコンサートを開催しました。コンサートには、世界トップクラスの歌声を楽しめることもあり、約200名の参加がありました。また、コンサート終了後、学友会館2階レストランにおいて、歓迎レセプションが行われました。

10月6日(水)、本邦初公演となる神戸公演(10月7日)にさきがけて、ベルリン国立大聖堂・芸術大学少年合唱団が本学に来学し、甲友会館大ホールにて本学グリークラブおよび女声合唱団アモローゾとのジョイントコンサートを開催しました。コンサートには、世界トップクラスの歌声を楽しめることもあり、約200名の参加がありました。また、コンサート終了後、学友会館2階レストランにおいて、歓迎レセプションが行われました。

10月6日(水)、本邦初公演となる神戸公演(10月7日)にさきがけて、ベルリン国立大聖堂・芸術大学少年合唱団が本学に来学し、甲友会館大ホールにて本学グリークラブおよび女声合唱団アモローゾとのジョイントコンサートを開催しました。コンサートには、世界トップクラスの歌声を楽しめることもあり、約200名の参加がありました。また、コンサート終了後、学友会館2階レストランにおいて、歓迎レセプションが行われました。

これらを具体例を挙げながら話され、学生生活のみならず、社会生活を営むうえで考えるべき示唆ある講演となつて満員の聴衆を魅了しました。

これより具体的に育成し、専門的知識を継続的伝達能力をいかに育むかにあること。(3)より一般的に、身についた知識をどのように生かし、その生かし方をどう考えたらよいか。

生きる意味を問いかねて、学生生活のみならず、社会生活を営むうえで考えるべき示唆ある講演となつて満員の聴衆を魅了しました。



第136回現代講座開催 東京大学総長を招き、総合研究所講演会を開催

甲南大学総合研究所では、10月27日(水)に開催しました。コンサートには、世界トップクラスの歌声を楽しめることもあり、約200名の参加がありました。また、コンサート終了後、学友会館2階レストランにおいて、歓迎レセプションが行われました。

甲南大学総合研究所では、10月27日(水)に開催しました。コンサートには、世界トップクラスの歌声を楽しめることもあり、約200名の参加がありました。また、コンサート終了後、学友会館2階レストランにおいて、歓迎レセプションが行われました。

甲南大学総合研究所では、10月27日(水)に開催しました。コンサートには、世界トップクラスの歌声を楽しめることもあり、約200名の参加がありました。また、コンサート終了後、学友会館2階レストランにおいて、歓迎レセプションが行われました。



不動産・建設系のOB会

「甲南リアルターズ俱楽部」結成

自治会中央委員会現代講座実施委員会が主催する現代講座(摂津祭)の期間には学術祭を兼ねるを、11月5日(金)に開催しました。今回の講演は現役時代はバレーボール全日本代表選手として活躍され、引退後はスポーツキャスターとしてさらなる飛躍を遂げている大林素子氏を講師に迎え、「マイドリーム」をテーマに行われました。講演は、「身長

が高い」という自分のコンプレックスの話からはじまり、逆にこれをバネにして、「身長の高さを生かせば活躍の道がある」という目標を持ち、バレーボールを志望したことや、魅了しました。

高い」という自分のコンプレックスの話からはじまり、逆にこれをバネにして、「身長の高さを生かせば活躍の道がある」という目標を持ち、バレーボールを志望したことや、魅了しました。

高い」という自分のコンプレックスの話からはじまり、逆にこれをバネにして、「身長の高さを生かせば活躍の道がある」という目標を持ち、バレーボールを志望したことや、魅了しました。

【日 時】2005年1月11日(火)～12日(水)
【時 間】1日4回開催。開始時間は午前10時、午後0時30分、同2時30分、同4時30分。
【所要時間】90分の予定。

【申込方法】1月実施分は12月1日(水)～17日(金)キヤリアセンターで受け付けます。

【場 所】平生記念セミナーハウス
【講 師】(株)パナオノより2名
【参 加 費】5,000円

就職面接実践講座

面接突破に向け、少人数による模擬実践を通じ、面接の重要なポイントを個別にチェック・指導し、効果的な自己PRや動作を学ぶために、次の要領で開催します。

CAREER CENTER EVENT SCHEDULE

キャリアセンターイベントスケジュール

【就職面接実践講座】

面接突破に向け、少人数による模擬実践を通じ、面接の重要なポイントを個別にチェック・指導し、効果的な自己PRや動作を学ぶために、次の要領で開催します。

【企業研究セミナー】

新卒就職希望学生を対象に、業界・企業研究の一助とする目的で開催します。このセミナーは、就職活動を行なううえで大変重要なセミナーとなります。業務繁多のなか多くの企業がご参加くださいますので、民間企業へ就職を希望する学生は、1社でも多く参加するようにしてください。詳しく述べる方であれば、法人・個人を問わず、隨時入会できます。

【期 間】2005年2月1日(火)～28日(月)
【時 間】Aセミナー：午前10時～11時30分、午後1時30分～2時30分
【場 所】1号館、5号館および8号館の会議室
【申込方法】履歴書および申込書
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】同じ時間帯の申込は、1人1社に限ります。なお、事前の申し込みが必要。

【期 間】2005年2月1日(火)～28日(月)
【時 間】Bセミナー：午後1時30分～2時30分
【場 所】1号館
【申込方法】Cセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Dセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Eセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Fセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Gセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Hセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Iセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Jセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Kセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Lセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Mセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Nセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Oセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Pセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Qセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Rセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Sセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Tセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Uセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Vセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Wセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Xセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Yセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Zセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答

【就職面接実践講座】

面接突破に向け、少人数による模擬実践を通じ、面接の重要なポイントを個別にチェック・指導し、効果的な自己PRや動作を学ぶために、次の要領で開催します。

【企業研究セミナー】

新卒就職希望学生を対象に、業界・企業研究の一助とする目的で開催します。このセミナーは、就職活動を行なううえで大変重要なセミナーとなります。業務繁多のなか多くの企業がご参加くださいますので、民間企業へ就職を希望する学生は、1社でも多く参加するようにしてください。詳しく述べる方であれば、法人・個人を問わず、随时入会できます。

【期 間】2005年2月1日(火)～28日(月)
【時 間】Aセミナー：午前10時～11時30分、午後1時30分～2時30分
【場 所】1号館、5号館および8号館の会議室
【申込方法】履歴書および申込書
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】同じ時間帯の申込は、1人1社に限ります。なお、事前の申し込みが必要。

【期 間】2005年2月1日(火)～28日(月)
【時 間】Bセミナー：午後1時30分～2時30分
【場 所】1号館
【申込方法】Cセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Dセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Eセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Fセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Gセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Hセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Iセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Jセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Kセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Lセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Mセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Nセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Oセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Pセミナー：午後4時～5時
【内 容】企業説明および質疑応答
【申込方法】Qセミ